

学生寮におけるラーニングアウトカムズ 2017 年度自己評価アンケート概要

1. 目的

学生寮におけるラーニングアウトカムズの効果測定を行うために自己評価アンケートを実施した。

2. 調査方法

Google フォームによりアンケートを実施した。学生寮における教育目標の各項目について、5 段階の自己評価を求めた。

【2017 年度自己評価アンケート】

①アンケート実施期間

入寮時アンケート・・・2017 年 4 月

卒寮時アンケート・・・2018 年 1 月

②調査対象

入寮時アンケート・・・全寮生 1,276 名 [男子 715 名、女子 561 名]

卒寮時アンケート・・・全寮生 1,228 名 [男子 702 名、女子 526 名]

※国際教養学部生の留学による入れ替え、途中入退寮のために入寮時と卒寮時の人数に相違がでている。

③回収状況

入寮時アンケート・・・912 名 (71.5%) [男子 489 名 (68.4%)、女子 423 名 (75.4%)]

卒寮時アンケート・・・441 名 (35.9%) [男子 274 名 (39.0%)、女子 167 名 (31.7%)]

④アンケート結果の概要

学生寮における教育目標の各項目について、自己評価 5 段階別の割合を算出した。全項目ともにポジティブな自己評価の割合が高かった。

アセスメント項目「国際性：多様性を受容する力と他者との協働性」に通ずる以下の質問についても、自己評価における「いつもまたは、ほとんどの場合に当てはまる(100%に近い)」の割合が増加していることから、学生寮における国際性への取組みは効果があると考えられる。

- (1) 多様性を受け入れる力 [多様な文化的背景を持つ他者との関わりの中で、お互いの価値観の差異を認め、受け入れることができる] **0.8%増加**
- (2) コミュニケーション力 [自分の主義主張を、わかりやすく他者に伝えることができる] **10.92%増加**
- (3) コミュニケーション力 [他者の意見を尊重し、理解することができる] **12.7%増加**
- (4) 協力し実践する力 [共通の目標に対して、責任を持って取り組むことができる] **6.82%増加**
- (5) 協力し実践する力 [共通の目標に対して、他者と協力することができる] **4.33%増加**

【2018年度自己評価アンケート】

①2018年度の実施計画

2018年度はじめと、年度末に自己評価アンケートを実施

②実施・回収状況

2018年7月にアンケートを実施済。1144名中626名の回答（55%の回答率）

③2017年度のアンケートからの内容や方法の変更点

より実体を把握できるように、質問の内容を変更した。

※1つのラーニングアウトカムズにつき、2つの肯定的質問、1つの否定的質問を作成した。

※昨年度の質問は、ラーニングアウトカムズの内容を直接聞く形式であった。

④今後の課題

年度末のアンケートでは、英文化を目指している。

アンケート集計等を個人の成長につなげることのできる取組みを検討中。